

学校概要

創立 38 周年	学校長 笹平 みどり	副校長 大塚 典子	学期 2 学期制	幼児・児童・生徒数 182 人
学級数 幼稚部:	小学部:	中学部:	高等部本科: 182	専攻科:

学校教育目標

- 自己実現をめざし自立する生徒を育成します。(知・徳・体)
- 望ましい勤労観を育み、確かな職業の力を養い、社会に貢献する生徒を育成します(公・開)。

学校の特徴

- キャリア発達を促す教育内容への転換を図るための教育課程運営改善が進んでいる。
- 開校以来、企業就労を目指した教育活動を展開しており、生徒の一人ひとりの特性にあわせた進路指導ができる。
- 企業、地域と連携した取り組みが増えており、Win-Winの関係を構築している。
- 様々な経験をもつ教職員が在籍し、専門性を発揮することができる。また、教科担任制をとって教科学習面の充実が図れる。
- 自閉性障害等をあわせ有する生徒が増え、自己有用感、自己肯定感が低い生徒が目立つ。

学校経営中期取組目標

- 最後の公教育の場として、生徒・保護者に優しい学校をつくります。
 - ・キャリア教育を柱とした教育課程運営改善の推進を図り、生徒一人ひとりの自己有用感、自己肯定感を高めます。
 - ・企業、地域との連携を推進し、社会に開かれた教育課程を創造します。
 - ・生徒指導、教育相談を充実し、誰もが安心し、豊かな学校生活が送れるようにします。
- 教職員が相互に連携して、組織的な学校運営を行います。
 - ・組織力を高め学び続ける教職員集団を目指します。
 - ・研究を継続し、情報発信を推進します。

(3)年間で育てる子ども像

- 自己有用感、自己肯定感があり、自らの言葉で自らの思いを語れる生徒。
- 働くことや余暇活動を通して、豊かな生活を送ることができる生徒。
- 自分の職場、家族や友人との豊かな人間関係を形成し、長く働き続けることができる生徒。

自校の具体的取組

- ①研究テーマ「キャリア発達を促す授業実践～自己の学びを振り返り、対話を通して主体性を育む教育の推進～」に基づいた研究を行う。
- ②じぶんマップ、じぶんナビ、キャリア相談会を通して生徒自身の意思決定する力を高めます。
- ③企業、地域との連携を深めるなかで、生徒の考える力、対話力を高める。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>確かな学力</p> <p>担当 学習指導部・情報管理部</p>	卒業後も企業や生活支援機関で活用できる教育支援計画を作成・活用し、自己有用感、自己肯定感を高める。	<ol style="list-style-type: none"> ①個別教育計画の確認、指導目標について丁寧に確認し、学年職員で共有する。 ②「共通教科」「職業科(作業学習)」を中心に、生徒自らが主体的に活動し、自らの学びを振り返る力の向上について研究する。 ③ICT機器を活用した授業改善に努める。タブレットPCの研究推進。
<p>豊かな心</p> <p>担当 生徒指導部・人権委員会</p>	自分の長所を知りそのよさを大切にすだけだけでなく、他人のよさも大切にしようとする心情や態度を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒一人ひとりの個性や特徴を知り、望ましい学校生活を送れるように支援する。 ②学年相互の共通理解を深め、全職員が協力して、取り組める体制をつくる。 ③校内組織の活性化を図るとともに、関係諸機関との連携を密にする。 ④道徳やホームルームの学習を充実させ、安心して学べる、相談しやすい環境を整える。
<p>健やかな体</p> <p>担当 保健安全指導部</p>	卒業後の就労等に適應できる体力を身につけるとともに、自己の健康を管理する力を身に付くように支援する。	<ol style="list-style-type: none"> ①自立した生活を支える基盤的能力「食習慣」「運動習慣」「生活習慣」を高める。 ②養護教諭と連携して、自己の存在を肯定的に受け止め、自他の性に対する理解を深め、望ましい人間関係を築く能力や態度を育てる。
<p>センター的機能の取組</p> <p>担当 進路支援部・生徒指導部</p>	専門性や施設、設備を生かし、地域の特別な教育的ニーズのある生徒の教育に関する支援センターとしての役割を果たす。	<ol style="list-style-type: none"> ①中学校、高等学校、地域の各種機関とのネットワークを構築する。 ②地域の教育力を高めるための各種研修事業を企画する。 ③特別支援教育に関する相談及び支援事業を行う。
<p>キャリア教育</p> <p>担当 研究研修・学習指導・進路支援部</p>	教育課程の柱にキャリア教育の視点を位置付け、長く働き続けるために必要な力を育てていく。	<ol style="list-style-type: none"> ①就労のための新チェックリスト(じぶんナビ)、新個別教育計画(じぶんマップ)の研究を進め、新1年生より順次活用していく。 ②キャリア相談会を通して生徒の自己理解力、キャリアプランニング能力を高める。 ③研究テーマ「キャリア発達を促す授業実践」を設定し、研究を推進する。
<p>進路支援</p> <p>担当 進路支援部</p>	在学時から卒業後までの支援体制を整え、生徒が社会の中で生き生きと成長し、安定した生活ができるように支援する。	<ol style="list-style-type: none"> ①時代とともに変化する就労状況の実態に對應できる校内組織を整備します。 ②適切な進路指導をするために、市立高等特別支援学校三校との協働と役割分担の仕組み作りをします。
<p>地域支援</p> <p>担当 地域支援部・作業専任教</p>	企業、地域との連携を進め、積極的に社会と関わる機会を増やし、生徒の人間関係形成能力、課題対応能力を高める。	<ol style="list-style-type: none"> ①CCラボ、駅前バザーの在り方について検討を進める。 ②作業課製品の販路を整理、拡張し、多くの生徒が開かれた場(実の場)で活動できる機会を設ける。 ③学校評価の意義を見直し、企業、地域の方の第三者評価への参画への取組を実施する。
<p>人材育成・組織運営</p> <p>担当 教務部・情報管理委員会・事務管理部</p>	メンターチームや研修の機会を活用して、教職員の専門性を高める。また、組織力の向上を目指して職員組織の改善を図る。	<ol style="list-style-type: none"> ①メンターチームを組織し、中堅職員をリーダーとしてながら自主研修を行う。 ②教職員一人ひとりが組織の中での各自の役割を認識し、責任をもって校務を担当する。また、それぞれの担当からの情報発信を行い、情報の共有化を進める。 ③職員組織の見直しに着手する。